

谷田部狛江市議会議長のあいさつ（宮坂副議長代読）

本日はこのようなこまえ平和フェスタにお招きいただきまして、ありがとうございます。

今ご紹介があったように本来ならば谷田部市議会議長が参りまして、ご挨拶をさせていただきますところですが、今日は公務のために参加できません。代りに私、副議長の宮坂良子が代読させていただきますと思います。

【代読】

狛江市議会議長の谷田部でございます。皆様、本日は他の公務のために出席できず誠に申し訳ございません。

今年も、実行委員会及び関係者の皆様の熱意あふれるご努力により、「こまえ平和フェスタ2024」が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

人々が平和を願う気持ちは、いつの時代にあっても変わりません。しかし、現実には、ウクライナにおいては、今もなおロシアによる軍事侵攻が続いております。また、イスラエルにおいても、イスラム組織ハマスとの武力衝突が勃発し、世界ではまだまだ紛争が絶えません。次世代を担う罪もない子どもたちは、人権尊重が叫ばれながらも、大人たちが起こす紛争に巻き込まれ、傷つき、亡くなっているのが現状です。人権が蹂躪（じゅうりん）され、多くの尊い生命が犠牲になっていることに、強い憤（いきどお）りを覚えます。

私たちが暮らす今日の日本は、多くの尊い犠牲のもとに平和と繁栄が築かれました。これを決して忘れることなく、世界中のすべての人々が、平和に生きていける世の中を願い、そのために自分たちにできることをしていくことが、何よりも重要だと感じております。

今年の「こまえ平和フェスタ」は、日本の子どもの権利条約批准から30年を記念し、「えがお ひろがれ！いのち かがやけ！ー知ってる？子どもの権利ー」がテーマになっております。

プログラムでは、9年ぶりに「ぞうれっしゃがやってきた」が演奏されるほか、朗読劇や展示なども企画されており、「平和の尊さ」について考え、「語り継ぐことの大切さ」、「今の平和を享受できる幸せ」を再確認できる有意義な機会になることを願っています。

狛江市議会といたしましても、昭和57年6月21日に「狛江市平和都市宣言」をしており、その精神を尊重し、平和で安全なまちづくりのために最大限の努力をしていきます。

最後に、「こまえ平和フェスタ2024」の成功と、本日お集まりの皆様方のご健勝を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



私も一言。一議員といたしましても、一市民といたしましても平和を守るために全力を挙げていきたいと思っています。本日は狛江フェスタの成功、本当におめでとうございます。

宮坂良子副議長